

事前評価個表

整理番号	2
------	---

地域（地区）名	<small>くしろねむろ</small> 釧路根室	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	<small>くしろ</small> 釧路市ほか 12 市町村
事業実施期間	R4 年度～R8 年度（5 年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は北海道の最東部に位置し、東部はオホーツク海、南部は太平洋に面している。西部から北部に千島火山帯の阿寒・知床山系が連なり、南部から東部にかけて広大な波状大地が広がる。釧路湿原、風蓮湖、春国岱など数多くの湿地が存在し、全国の湿地面積の 56% を占める。</p> <p>本地区の総面積は 1,450 千 ha のうち、森林面積は 561 千 ha（森林率 59%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は 79 千 ha（人工林率 29%）で、トドマツが 33%、カラマツが 47% を占めている。齢級構成はⅧ齢級以上が 59% と利用期を迎えており、今後、主伐に伴う更新作業の増加が見込まれる。</p> <p>また、本地区内の林道延長は 676 千 m で、公道等を含む林内道路密度は 12.7 m/ha となっており、このほかに林道の支線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち 32 千 ha（人工林の 41%）がⅦ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、森林所有者の高齢化や後継者不足による森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、釧路根室地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備： 34,695 ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備： 8,335 m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：9,882,371 千円（税抜き 8,983,974 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 4.67$</p> <p>（総便益（B）=64,064,172 千円、総費用（C）=13,716,026 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林が多く所在し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な基盤整備として路網の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

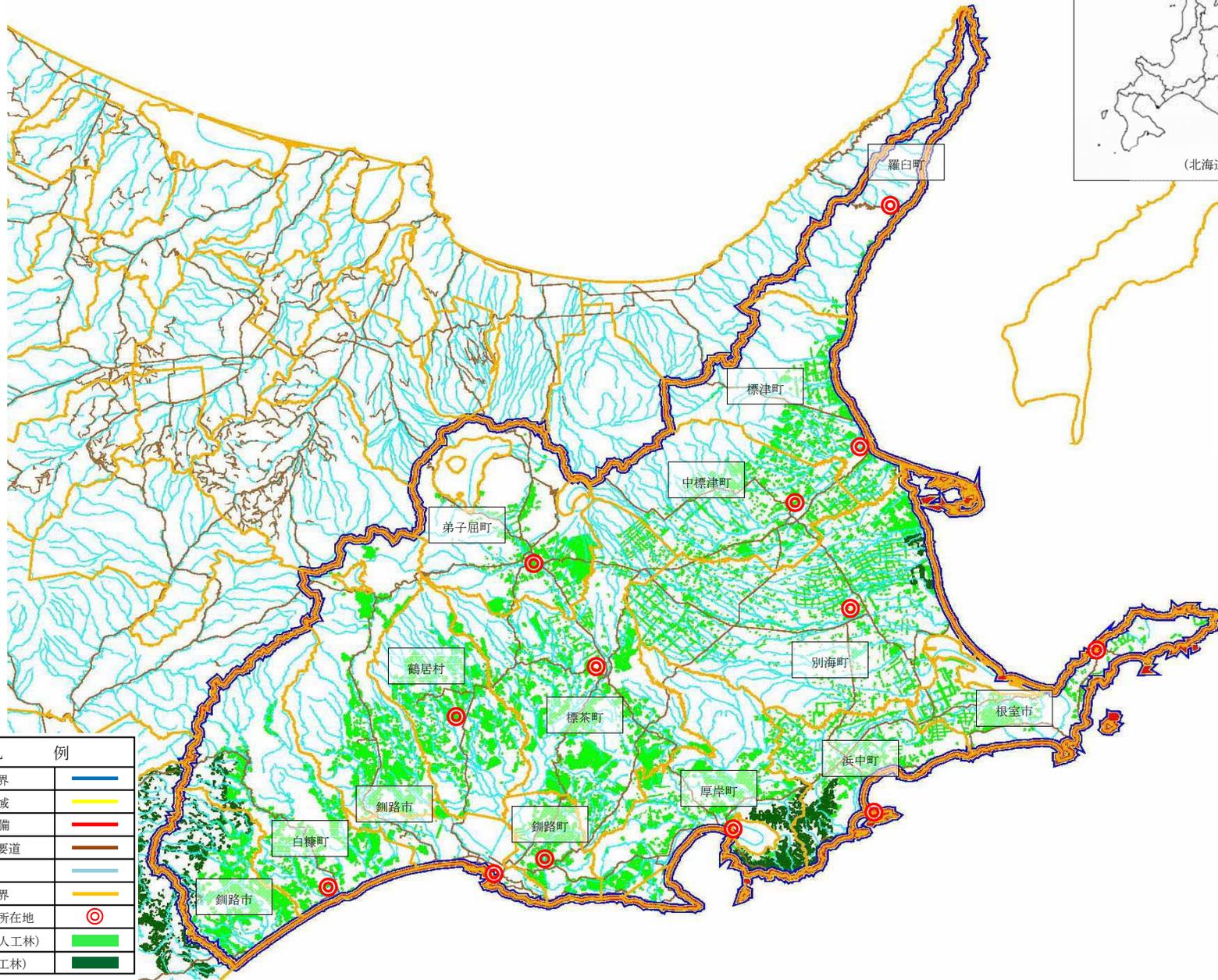
都道府県名：北海道

地域(地区)名：くしろねむろ
釧路根室

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	13,272,273	
	流域貯水便益	4,442,399	
	水質浄化便益	16,440,992	
山地保全便益	土砂流出防止便益	17,908,061	
環境保全便益	炭素固定便益	5,354,252	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	745	
	木材生産確保・増進便益	5,985,637	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	659,813	
総 便 益 (B)		64,064,172	
総 費 用 (C)		13,716,026	
費用便益比	$B \div C = \frac{64,064,172}{13,716,026} = 4.67$		

森林環境保全整備事業 釧路根室地域（北海道）



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Blue line)
市町村界	— (Yellow line)
市町村役場所在地	⊙ (Red circle)
一般民有林 (人工林)	■ (Light Green)
道有林 (人工林)	■ (Dark Green)